

〔答〕平成30年度中に購入し、県大会から使用可能とする。

〔問〕市の操法大会出場支団に消防操法用ホースの支給はされるのか。

〔答〕平成30年度は小型ポンプ操法用として支団にホース3本を支給する。

教育費

主な市民意見

- 高校生の通学費支援
- 小中学校の学期の見直し
- 教員の多忙化解消
- 郷土教育
- コミュニティ・スクール
- ICT活用
- 高校生の通学費等に
対する助成の内容は。
- 市内に在住し、飛騨地区の高校に通学する生徒に対し、定期代の3分の1、上限8万円を助成する。
- 図学習指導要領に盛り込まれた道徳教育の進め方は。
- 図道徳教科書を使用し、教員には年間を通して

研修会を行う。
〔問〕心の教育推進のあり方は。

〔答〕保健相談員・特別支援員の配置基準を見直し加配する。

〔問〕学校教育のICT化の取り組みは。

〔答〕電子黒板を各校1台、小中異学年の支援学級にタブレット249台を整備する。

〔問〕文化芸術祭の方向性は。

〔答〕次回はテーマを設けず市民提案プロジェクトをメインに開催する。プレイベントは行わない。

〔問〕高地トレーニングエリアの整備状況は。

〔答〕協議会による予算も活用し、国の強化合宿の誘致に取り組む。

一般会計全般

〔問〕入湯税の減少傾向の理由は。

〔答〕日帰り入湯施設6施設において利用者が減少したためである。

〔問〕各種補助金の見直し状況は。

〔答〕目的・効果・補助率等の見直しを随時行っている。

〔問〕都市計画区域の拡大時の課税留保期限が平成31年と迫る中での税徴収に向けた住民合意は。

〔答〕課税方法の前に都市計画事業のあり方を議論する。

〔問〕若者定住促進や交通インフラ、健診など広域連携の考えは。

〔答〕地方創生における3市1村の共通課題は多く、一体感を持ち進める。

〔問〕寡婦控除の適用基準の見直し状況は。

〔答〕平成30年度予算への反映はないが、27事業に影響があり、みなし適用について対応したい。

〔問〕平成30年度特別会計予算

〔問〕国民健康保険事業

〔問〕国民健康保険事業